

令和5年度第1回 燕市生涯学習推進協議会 会議録(要旨)

日 時 令和5年8月9日(水)午前10時00分～11時30分

会 場 燕市民交流センター 3階 多目的ホール

出席委員 石附行子委員、小野塚美鈴委員、田辺美香子委員、田野正則委員、
二平芳信委員、中島純委員、福田智子委員、松井隆司委員、水野晶子委員、
宮路美也子委員、柳原康浩委員

欠席委員 田公美智子委員、真嶋大輔委員

事務局 燕市教育委員会 小林教育長

社会教育課 石黒社会教育課長、古澤課長補佐、石村係長、関根主事
地域振興課 伊藤係長

報道機関 なし

傍聴者 なし

議 題 報告

(1) 燕市生涯学習人材バンクの令和4年度実績について
協議

(1) 第2次燕市生涯学習推進計画施策指標の令和4年度評価
及び令和5年度目標値について

(2) 第3次燕市生涯学習推進計画の策定概要について

(3) 第3次燕市生涯学習推進計画骨子(案)について

[以下、会議録(要旨)]

報告

(1) 燕市生涯学習人材バンクの令和4年度実績について

《事務局説明》

○委員

生涯学習人材バンクのパンフレットは、何年かに一度見直しをしているのか。

○事務局

ここ数年は同じものを使用している。

○委員

音楽・芸能分野では8人の先生が掲載されており、ほかの分野よりも多い登録人数だと思うが、パンフレットに音楽関係の記載がないため記載して欲しい。

また、音楽・芸能分野には、どういった内容の講師が登録されているのか。

○事務局

音楽・芸能で登録されている内容は、アコーディオン、ハーモニカ、ピアノ、詩吟、三味線、和太鼓となっている。

協議

(1) 第2次燕市生涯学習推進計画施策指標の令和4年度評価及び令和5年度目標値について

《事務局説明》

○委員

児童館・児童研修館利用者数の目標値が実績値とあまりにもかけ離れた数字になっている。この目標値の設定にあたって、何か誤認があったのか。

○事務局

平成26年度の計画基準値は当時の実績値であり、これに基づいて推計をしている。総合計画や人口戦略でも、子どもの出生数は維持する目標としていたため、利用者増を見込み、目標設定を行った。

令和元年度でも16万人が利用しており、新型コロナウイルス感染症の影響でかなり低下した。当初の目標値としては、適切に判断されたものと思っている。

○会長

先ほどあったとおり、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている。また、人口減少、少子化も大きく作用していることが見て取れる。

これから第三次計画を策定していくにあたって、方針を定める一つの視点、枠組みとして、数

の多寡で評価する発想から、利用者の満足度や反響・波及効果など、質の担保というところへ、評価の基軸がシフトしていかなければいけないと思う。

○委員

現在の市民教養講座は、変わりなく何年も続いているが、見直しをする予定はあるか。つまり、独立できそうな団体はあるのか。

○事務局

令和 5 年度の市民教養講座では、1 講座のみ、先生の都合で変更があったが、そのほかについてはここ数年変わっていない状況である。また、団体化するところは無いと聞いている。講座から団体化し、また新たな講座が始まってという循環を目指すのが教養講座の始まりだと考えている。担当のほうにも伝え、そのように促していければと思う。

(2) 第 3 次燕市生涯学習推進計画の策定概要について
《事務局説明》

○委員

第 1 次生涯学習推進計画の「いつでもどこでも誰でも学べる学習環境を充実し」というところで、「どこでも」というのは具体的にはどういうことか。

○事務局

「どこでも」というのは、ご自身の学ぶ場所ということで、人によってここしか行けない、子どもだったら学校しか行けないではなく、公民館でも、民間の教養講座でも、スポーツ施設でも、いろいろなところで学ぶことができるということ。

○会長

計画の性格と位置づけだが、上位計画は第 3 次総合計画。関連する他の計画としては、スポーツ推進計画、第 2 次燕市子ども読書推進計画とあるが、これに加えて、第 3 次燕市学校教育基本計画がある。

生涯学習の場合は、行政に横串を刺す、包括的な計画であるということに特色があると思う。

(3) 第3次燕市生涯学習推進計画骨子(案)について
《事務局説明》

○委員

目標達成90%未満は×という厳しい評価だが、これは燕市独自の評価なのか。

○事務局

こういったパーセンテージによる評価は一般的であるが、90%以上で○にするといったところは燕市で設定している。

○委員

達成率での評価は分かるが、80%程度であれば、「頑張った」というような評価も大事であると思う。頑張った内容であれば評価してもいいのではないか。

○事務局

今後については数字だけではなく、その質を評価するということで、非常に難しいと感じているが、よりよい評価方法を設定できればと思う。

○委員

「時間に余裕がない」ということが取り上げられているが、2024年には大分変わってくると思う。拘束時間も縮まり、残業したくとも、今度は罰則もある。一般的には、時間的な余裕が出てくるのではないか。

効率化というところで、チャットGPTは市や学校、先生も使っているのか。

○会長

レポート課題でチャットGPTを使わないように指示しているが、禁じてはいない。一般論を理解する参考に使用するなら可としている。

小学校・中学校での使用は少し疑問であるが、GIGAスクールでタブレットを1人1台持っているため、読書感想文をチャットGPTで書くというケースがなくはない。

○委員

施設来館者数を指標として挙げることに疑問を感じている。良寛史料館からの依頼でロビーに作品を展示した場合、その作品だけを見に来る人が圧倒的に多い。図書館などの公共施設を涼みどころとして開放していることもそうだが、目的外の来館者数がどんなに増えても、意味がないと思う。

○会長

先ほどもあったとおり、定性評価が定量評価か。もう定量評価では、生涯学習の評価も限界に来ていることは明らかである。

○委員

指標については質を重視した指標になるよう、ぜひ考えていただければと思う。

2 点目に、「学びの土台づくり」の(1)家庭と地域の教育力向上に「放課後の居場所づくり」という項目がある。ここで放課後の居場所づくりを入れたときに、子どもたちが行きたくなるような、そんな居場所をつくる案が出てくるのか。良い案を示していただければと思う。

3 点目、「誰もが学ぶ」、(2)現代的課題に対応する学習機会の充実のところ、主な取組で「スポーツ活動の推進」があるが、ここに地域におけるスポーツ指導者の育成支援と活用をぜひ入れていただきたい。これから中学校部活動の地域移行が何年もかけて行われていくことになると思うが、地域の方々が教えていって、小学校、中学校、それから高校になっても、いろいろと面倒を見てもらえるような形が出来上がるのが1番理想だと思っている。

○会長

これは具体的に計画の中に位置づけるというご提案だと思う。一つは放課後の子どもの居場所づくり。もう一つがスポーツ活動の指導者育成というところ。これらは入れる方向で進めたいと思う。

○委員

生涯学習を取り巻く社会状況ということで、「グローバル化の進展」や「人工知能の進化」は盛り込まなくてよいのか。また、超スマート社会の実現、Society5.0 について具体的にわかりやすく教えていただきたい。

○事務局

グローバル化や人工知能の進化については、その要素を意識してまとめたいと思います。

○会長

補足すると、Society5.0 は、総合計画の中では言い方を変えてデジタルトランスフォーメーションへの移行、DX 化という形で説明されている。社会全体でデジタルオンライン化が進む中、行政もデジタル市役所ということを掲げているが、学校などでも完全にデジタル化が進み、逆に言えば、もはやデジタルなくして生涯学習というのは非常に難しいというような状況だということ。Society5.0 よりも DX 化というほうが良いかもしれない。

○会長

まず修正点について、基本目標の三つめ、「学びが生きる」の「生きる」は「生」ではなく「活」。また、「人材バンクの育成」とあるが、燕市には保育士等人材バンクもあるため、「生涯学習人材バンク」にしたほうよい。

あとは提案として、施策の展開、「男女共同参画、人権に関する学習の推進」だが、「男女共同参画」という言葉は20~30年前にできたもの。SDGs がバックボーンにあるということなので、今の表現で言えば、例えば「共生社会」とか「インクルーシブ社会」という言い方になる。そのほうが、ジェンダー平等や、国籍、性の多様性なども入ってくる。「共生社会、人権に

関する学習の推進」のほうがいいのではないか。

また、「生涯スポーツと健康づくりの推進」は、「健康づくり」よりも、やはり生涯学習なので、教育を際立たせて、「健康教育」のほうがなじむのではないかと思う。

三つめに、気象変動に対する具体的な施策として防災減災教育を明確に位置づけたほうがよい。生涯学習というのは、学びのセーフティーネットであり、SDGs の考え方であれば、誰ひとり取り残さないという考え方である。そのため、防災減災を入れないといけない。

○委員

LGBTについては。

○会長

性の多様性の尊重についてもぜひ入れていただきたい。

○委員

多様性、要はダイバーシティーだが、多様性という言葉の意味の中には、男性・女性、LGBT、国籍や人種、性的嗜好など、そういうものが含まれている言葉なので、「多様性」を使ったほうがよいと思う。

○会長

そのとおりで、多様性とあわせて、包摂性、多様性を尊重すると同時に誰ひとり取り残さないということが、この計画で見てとれると1番良いと思う。

閉会